

地域連携で創る『道徳教育論』

平間信雄

●要約

小論は、実践記録である。

その実践の柱は次の五つである。

- ①学校現場の外部講師の協力
- ②授業応援団の組織化
- ③共同の基盤としての『授業テーマ』の設定
- ④学生による道徳教材の開発
- ⑤学生による道徳授業の実践

五つの柱は、実践の特色であり、学生の成長の糧であった。

大学における道徳教育論の『創造』にチャレンジした実践記録でもある。

●キーワード

実践的道徳教育論

道徳教育論の創造

外部講師

授業応援団

授業テーマ

学生による道徳教材の開発

学生による道徳授業の実践